

●入架図書紹介

図 書 名	著 者	出 版
議 会 ・ 地 方 自 治		
どんな場面も切り抜ける！ 公務員の議会答弁術	森下 寿	学陽書房
國會要覧 第60版 限定版	中島 孝司	国政情報センター
國會議員要覧 平成29年11月版	中島 孝司	国政情報センター
観 光 ・ ま ち づ ぐ り		
フラノマルシェはまちをどう変えたか 「まちの滞留拠点」が高める地域内経済循環	石原 武政 加藤 司 風谷 昌彦 島田 尚往	学芸出版社
ワールド・カフェから始める地域コミュニティづくり 実践ガイド	香取 一昭 大川 恒	学芸出版社
そ の 他		
女性人材の活躍2017 女性コア人材の育成の現状と課題 ～第8回 コア人材としての女性社員育成に関する調査結果～	日本生産性本部ダイ バーシティ推進センター (編集)	日本生産性本部 生産性労働情報 センター
児童養護施設の子どものための家族再統合プロセス —子どもの行動の理解と心理的支援	菅野 恵	明石書店
全国市町村要覧 平成29年版	市町村要覧編集委員会	第一法規



正月遊びって何？



穏やかな年末年始も終わり、また新たな1年がスタートしましたね。近年はお正月を海外で過ごされる方もいますが、家でゆっくりと過ごされた方も多いのではないかと思います。ところで、皆さま正月遊びといえば何を思い浮かべますか？私が幼少期の頃は、凧揚げ、羽根つき・双六・百人一首・独楽まわし・お手玉・けん玉・めんこ・だるま落としをしたものです。

これらの正月遊びは老若男女問わず、楽しむことができます。しかし、最近では、液晶ゲームやスマートフォン等の普及により、こうした遊びが忘れられているのではないかと感じております。正月遊びは、こうした液晶のものとは違い、例えば、凧揚げの場合、「凧にどんな絵を描こう…」という迷いや、道具を作るところから始める楽しみもあり、それぞれの個性やコミュニケーションが生まれます。

そのほかにも昔の正月遊びはないものかと気になり調べていたところ、図書室にある「和歌山市の民話」という資料では、すり鉢ころがしという遊びがあるということを知りました。すり鉢ころがしとは、すり鉢の中に10円玉や丸いものをころがし、それらが重なるともらえるという遊びだそうです。この資料の面白さは、和歌山市の地名や神社の由来、昔のあそび等について書かれているので、和歌山市の歴史を知ることができます。是非、手に取っていただきたい私のおすすめの資料です。

こうした正月遊びは、正月にかかわらず屋内・屋外で楽しむことができます。紙や木といった自然の素材を生かした道具に触れる遊びを知っていただけでしょうか？もし、他にも「こんな遊びをしていた！」ということがありましたら、是非、お聞かせください。

参考資料 「和歌山市の民話（資料集・上）」

